

会議名	ごみ広域化会議	市長	副市長	部長	理事	課長	係長
相手方	県廃棄物対策課（3名） [redacted]（景観・環境局） [redacted]	課長	課長補佐	係長		合 議	
市	建設企画室 井上課長 山下係長	平成26年6月24日 午前9時30～11時 場所：県廃棄物対策課				決 裁 印	
案件	天理市が検討している「ごみ処理の広域化」について						

「天理市が策定した長寿命化計画と新施設建設にともなう広域化について」

景観・環境局の [redacted] より県が進める一般廃棄物処理施設の広域化について説明

過去に奈良モデルとして、県内を6地域に分割し広域化を進めたが、それぞれの自治体の都合などにより実現はできていない。県としては、県内4～5地域で良いと思っている。その中で、天理市が新施設を建設する場合に広域化を検討してもらえるのであれば、県としてはサポートしたい。

天理市から広域化の検討を各市町村に打診すれば、即、天理市で施設建設するように要望があるのは確実なので、県が進める広域化に賛同し参加するという形が良いと思う。

すでに吉野郡吉野町・大淀町・下市町など3町4村では具体的に広域化に向けての話しが進展がある。

同じように広域化の話しを進めるとすれば、現在、参加可能な範囲は、天理市から西の地区になると思う。具体的には、天理市が示している北葛城郡の河合町・上牧町、特に上牧町は施設が古く何時止まるか分からない状態で他にお問い合わせのしかない。また、この施設は香芝市にあり更新ができない。他に生駒郡の平群町、三郷町、安堵町の施設も老朽化している。斑鳩町の施設は使用できるが使用期限が切れ、現在は民間委託である。香芝・王寺については、使用期限がいったん切れたが、5年間の延長を求め地元協議を行っているところで、今の枠組み以上に市町村を新たに加えるのは難しいと思う。

斑鳩町が民間委託を行っているが三重中央開発も潰れないとも言切れない。他に宇陀市、曾爾村、御杖村でごみ処理を行っているが、宇陀市に旧榛原町と室生村の施設があり1箇所は老朽化していてもう1箇所は新しい。しかし、広域化には賛同してもらえらると思う。

広域化の流れとしては、最初に県から関係市町村に勉強会を開催する旨を打診させてもらい、その中で、広域化による費用的なメリット（30年間の試算）を県で算出し資料を出させてもらう。その後、1年程度の勉強会を行い、その中で参加市町村を決定していく。勉強会の段階では、施設建設をどの市町村にお問い合わせのしかないので、腹をくくっていただく必要がある。→天理市長の心づもりが必要と考える。県としては、総じて、し尿などは川下の地域でお願いし、ごみは川上の地域でお願いしたいと思っている。

勉強会の後に、推進協議会（検討会）を立ち上げ、県の補助金を利用しコンサルに提案をさせてもらう。また、事務局は市でお願いすることになると思う。

議会には、勉強会の間は公表することなく行っていただきたいと思っている。

推進協議会の中で、施設建設を受けていただく自治体には、どのような地域振興策ができるのか提案していきたいと思っている。

まずは、県で広域化の資料を作成させていただき、天理市で検討していただきたい。必要ならば、市長に説明する時に県が同席することも可能である。

[考察]

県の考え（広域化が必要）は、上牧町を始め何時止まってもおかしくない施設が県内には多数あること、また基幹改修や新設を行おうとしても人口要件があり、単独では補助金なしで行わなければならないため困難であることから理解はできる。

しかし広域化を考える場合は、施設を受け入れる自治体の負担が大きく、それ以外の自治体はお金を出さだけになってしまう傾向になりがちで、一部事務組合を組織して運営を図ったとしても、ごみ処理やごみ減量等に関する温度差は縮まらないと考える。

財政的に負担が軽減されること、新設する場合に市議会等から圧力がかかり難いことの利点が挙げられるが、県が考えているように、施設建設は核になる市になる公算が強く、天理市の覚悟が必要になる。

また、広域化をするとごみ分別や持ち込めるごみの種類等も統一する必要があり、範囲を広げれば広げるほど調整は厳しいものになると思われる（一番規制が高い市町村に合わせる場合）。

また、地元説明の中で、広域化すれば、施設が大きくなることによる公害問題やごみ収集車の通行が多くなり住民に迷惑をかけることなどにより、他市町村のごみを受け入れる場合の反発はかなり強いと思われ、天理市単独で新設するよりハードルがより高いものになる。

また、施設建設が天理市以外の市町村に決まった場合には、天理市の中で「リレーセンター」を確保する必要があり、「リレーセンター」の用地確保も問題になる。この「リレーセンター」は、焼却施設が無いだけで、破碎施設やリサイクル施設を併設する必要があり、クリーンセンターを新設する場合ほどではないにしても、用地確保や資金面で困難と思われる。

→現施設のごみピットを使用する場合は、プラットホームの改造や地元補償面で交渉が必要となってくる。

これらのことから、県の提案している広域化を安易に受け入れるのは難しいと思われ、現状の枠組みの中での新設も視野に入れ慎重に検討する必要がある。